

■授業の目的及び到達目標

教育・発達心理学 I では、教員を目指す人のための「教育心理学」について学びます。教育活動に必要な不可欠な教育心理学を学ぶことにより、児童生徒にとってより良い教育者になることを目指します。到達目標は、教員採用試験に対応できる教育心理学の知識を身につけることと、教員としての態度やプレゼンテーション力を身につけることです。

■授業計画

- 1 教育心理学とは何か
教育者として児童生徒にかかわるときに理解しておくべき教育心理学とは何かについて学びます。
- 2 発達の理論
発達とは何かについて考え、エリクソンの生涯発達の考え方を踏まえ、発達段階と発達課題について学びます。
- 3 各時期の発達の様相
乳幼児期から老年期までの年齢に応じた発達の様相について学びます。特に乳幼児期から学童期、青年期の成長によって変化する子どもの発達の特徴を具体的に学びます。
- 4 学習の理論
行動主義の学習理論、認知主義の学習理論、社会構成主義の学習理論について学びます。
- 5 I. 小テスト① II. 教授と学習
I. 第1回～第4回までの小テストと解説を行います。II. 知識・技能を重視する教授理論、意欲・態度を重視する教授理論、「よく考える」ために何が必要かについて学びます。
- 6 動機づけの理論
動機づけとその種類、動機づけの理論、動機づけが高まるとき・下がるとき、原因帰属について学びます。
- 7 知能と学力
知能測定の歴史、知能の理論、最近の知能理論、知能と学力の関係について学びます。
- 8 教育の評価
教育現場において評価することの意味、どのタイミングで評価するのか、どのように評価するのか等について学びます。
- 9 I. 小テスト② II. 授業の実践と研究
I. 第5回～第8回までの小テストと解説を行います。II. 授業の実践と研究の伝統、授業実践のヒントになる心理学的知見、より良い授業とは？について学びます。
- 10 学級集団～人間関係の発達～
学級とは、人間関係の発達に教師が与える影響、友人が人間関係に与える影響、友人関係形成の援助について学びます。
- 11 パーソナリティの問題と生徒理解
パーソナリティとは何か、パーソナリティをとらえる視点、適応・不適応と生徒理解について学びます。
- 12 問題行動と教育相談
問題行動の理解と支援、教育相談、子どもの問題に向き合う方策について学びます。
- 13 障害児の心理と教育
障害の種類、障害児への教育、障害児への支援、障害児教育の工夫について学びます。
- 14 I. 小テスト③ II. 教育実践の記述・教育実践と教育心理学
I. 第9回～第13回までの小テストと解説を行います。II. 教育実践の記述をどのように書くか、教育心理学を学んだ上で教育実践をどのように行うかについて学びます。
- 15 学期末試験及びフィードバックとしての解説
教育心理学の理解を問う期末テストを行った後に、まとめとしての解説を行います。

■授業の方法

基本的には、教科書を用いた講義形式で行います。授業は教科書中心に行いますが、その日のテーマに沿った学校での事例などをなるべく多く用いて、テーマを具体的にイメージしやすい授業にしたいと考えます。

Blackboard に毎回の授業の資料を掲載します。

また、授業内容に関して、各学生に自分が興味を持ったテーマに沿って発表をすることを求めます。

■予習・復習

予習は、教科書のその日の授業の単元を予め読んで、自分の考えをまとめておくこと。復習は、その日に学んだ重要項目について、資料等を見直して、ノートにまとめておくこと。その積み重ねが教育心理学への理解を深めることとなります。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

成績評価は、期末試験 70%、授業への積極的な参加度及び発表内容 30% の割合で評価します。欠席が 1/3 以上ある場合は単位を与えられません。

■教科書・参考書

教科書：新就職課程シリーズ 教育心理学 田中智志・橋本美保 監修 遠藤司 編著 一藝社

参考書：やさしい教育心理学 第4版 鎌原雅彦・竹綱誠一郎 著 有斐閣

■関連する科目

青年心理学、発達心理学、臨床心理学、学校心理学など心理学系の科目は関連する項目が多いですし、重なり合う項目もあります。